

1. 件 名：訓練のあり方及び規制の関与の検討に係る試行について

2. 日 時：令和4年11月14日 15:00～16:00

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

緊急事案対策室 川崎企画調整官、反町専門職

核燃料施設等監視部門 平野主任監視指導官

専門検査部門 長澤主任原子力専門検査官

北海道電力株式会社

原子力事業統括部 原子力業務グループ 副主幹 他5名

東北電力株式会社

原子力部（原子力防災担当） 課長 他1名

東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部 防災安全グループ マネージャー 他1名

中部電力株式会社

原子力部 防災・核物質防護グループ 課長 他2名

北陸電力株式会社

原子力本部 原子力部 原子力防災チーム 統括（課長） 他1名

関西電力株式会社

原子力事業本部 安全・防災グループ マネージャー 他2名

中国電力株式会社

電源事業本部 原子力運営グループ マネージャー 他1名

四国電力株式会社

原子力本部 管理グループ グループリーダー 他2名

九州電力株式会社

原子力発電本部 原子力防災グループ グループ長 他4名

日本原子力発電株式会社

発電管理室 警備・防災グループ 部長 他1名

電源開発株式会社

原子力技術部 運営基盤室（技術基盤） 総括マネージャー 他3名

原子力エネルギー協議会

副長

5. 要 旨

北海道電力から、1月27日に泊発電所で実施する事業者防災訓練におい

て試行する「GEに至ることを求めない（SE止まり）訓練」について、資料1に基づき説明があった。

原子力規制庁から、指揮者が訓練中に十分悩むことができたのかどうか等、訓練のねらいに照らしてどうであったか振り返られることが重要であるので、5週間前面談時に指揮者が十分悩むことができるシナリオであることの説明を求めた。また、GEに至らない訓練はERCプラント班としても経験がないことであり、安定した状態で訓練を終了する等、訓練の終了の仕方は工夫が必要である旨を申し伝えた。

北海道電力から、承知した旨の回答があった。

## 6. その他

配布資料：

資料1 SE止まりシナリオ訓練（試行）について（北海道電力株式会社）